



高麗中学校だより

# 日和田

令和5年・10月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

## 順調なスタートを10月につなぐ

新型コロナウイルスが感染拡大し、学年閉鎖もあった9月当初。それを無事乗り切って迎えた新人戦では、ミラクルあり手応えありの熱戦が繰り広げられました。

10月は中間テスト、体育祭、合唱祭と行事が目白押し。日々新たな努力をすることで新たな自分が発見できる、これが進歩の法則。運動が苦手、音楽が苦手な人にとって、考え方次第ではチャンスとなるのが体育祭や合唱祭。

一方、それらが得意な人は存分に輝く行事であって欲しいと思います。順調にスタートした9月の流れのままに、行事を通して飛躍する10月になることを期待しています。秋満開の曼珠沙華より輝け高麗中生！



## 埼玉県学力・学習状況調査より

生徒質問紙から高麗中生が県平均より抜き出ている項目を紹介します。

- ・勉強していてわからないことがあったら、先生に聞く
- ・新しいことを勉強するとき、今までに勉強したことと関連があるかどうか考えながら勉強する
- ・ものごとは楽しみながらがんばってやる
- ・自分には、よいところがあると思う
- ・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している
- ・将来の夢や目標をもっている

学年によって傾向に多少の差はありますが、概ねこれらの事項で抜き出えています。

「物事を肯定的に捉えて行動する」という高麗中生の「よさ」を感じ取れます。

## ミラクルな新人戦

新人戦の結果は、団体種目の卓球男子団体戦、野球がベスト4。個人種目の陸上男子1500mが優勝、800mが準優勝で県大会出場権を獲得しました。

自己ベストを更新した、自己最高の順位だったなどミラクルな活躍があった新人戦。惜敗した種目も、次の大会につながる試合内容が随所に見られました。

努力し成長したことが勝ちにつながった喜び、本来の実力が出せなかった悔しさ、どちらも必ず自分を伸ばす活力になるはずです。ミラクルをさらに大きなミラクルに膨らます努力に期待しています。

## 高麗の風景

- ・思いは伝わる

9月の生徒会朝会は新人戦に向けた壮行会。コロナ、インフルエンザの感染拡大を防ぐために各教室でのリモート対応。新人戦の目標を力強く語る各部長の発表は、画面から十分に思いが伝わる素晴らしい発表でした。新部長の意気込み、思いに圧倒された朝でした。

- ・学校から離れていても

夏休み終盤から感染拡大傾向にあった新型コロナ。2学期に入ってから学年閉鎖となりました。閉鎖中はオンラインで授業を実施。双方向で意見をやりとりするなど通常に劣らない授業ができました。ICT活用で便利な高麗中、離れていても学びは止まりません。

- ・部活が早く終わって…

高麗中の泣き所は校庭の雑草。草を抜いても抜いても、いつの間にか草原になります。9月の初め、部活動が早く終わった生徒が除草作業をしていた教員を見かけて手伝ってくれました。一人より二人、二人より三人…皆の思いを校庭に広げて体育祭を迎えたい。